

第6回行田市市民公益活動推進委員会 実施報告

日時：平成24年8月9日（木）

午後7時～午後9時

場所：忠次郎蔵

【参加者】 園田佳代子委員、塚本信夫委員、齋藤貴美子委員、徳重總章委員、
中村博行委員、町田光委員、田尻要委員長、矢本政子委員、
矢部正オブザーバー（関東経済産業局）

ものづくり大学生 3名

事務局（地域づくり支援課） 浪江美穂課長、吉田兼弘主査、市川諭主事

【概要】

グループを三つに分け、第5回委員会での意見(一覧表)を基に、各グループで意見交換をしてもらった。

特に、今年度コミセンみずしろに休憩所を設ける（ウッドデッキを設置）予定があることから、コミセンみずしろの活用方法について、具体的に意見交換をしてもらった。

<主な意見>

- ・寄贈を募ってコミセンを簡易図書館にしてはどうか。
- ・現在、市の観光情報の拠点は市役所であると思われる。行政サービスが手薄となる土、日にコミセンを観光案内所としてはどうか。
- ・コミセン周辺はウォーキング、ランニングコースとして最適である。また、今後は観光客も多く訪れると思われる。コミセンをそういった人向けの休憩所としてはどうか。
- ・コミセンでは多くの講座や教室が開かれているが、終了後に「お茶」をする場所がない。喫茶スペースが欲しいと考えている市民は多いのではないか。
- ・他所で成功した事例であっても、行田市でそれが成功する保証はない。真似ではなく、独自性のある活動を目指したい。
- ・せっかく水城公園をはさむ形でコミセンと忍・行田公民館があるので、両方でコラボをしてはどうか。
- ・タウンカフェ、コミュニティカフェ等の市民が集まりやすい雰囲気のみ作り場作りをしてはどうか。事業者についてはコンペを開催して決定する。
- ・自分は映画が好きなのでミニシアター化するのが良いと考える。しかし、私がそう考えるように、他の人も自分の趣味や好みを意識して発言をしていると思われる。それならば、提案制度を設け、日替わりや周替わりでギャラリーの活用を決定してはどうか。
- ・休憩スペースができれば市民が集うようになる。そこに賑わいのイベントなどを実施してはどうか。
- ・市民同士がまちづくりについて、意見をぶつけ合える機会をつくりたい。
- ・市民活動（NPO活動）の発表会をしたらどうか。（交流会含む）